

# 第50回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	C 7	回戦	男子2回戦
種別	中学生	会場	浦和駒場体育館		

A チーム			B チーム		
成田 (宮城)			田辺 (京都)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	13	前半	15	28	
	17	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

### 戦評

今大会初戦の成田中学校に対し、昨日鶴城との接戦を制した田辺中学校の一戦。田辺のスローオフで試合開始。攻撃的な守備を信条とする成田は1-2-3のシステム。最初のシュートをGKの好セーブでしのいだ成田が8番のシュートで先制。すかさず田辺も7番が相手をかかわして1点を返す。双方シュートで攻撃を終えながらも、GKの好セーブもあり、5-1となったところで田辺タイムアウト。序盤は成田ペースとなった。タイムアウト後、田辺は果敢な攻めから11番がチーム2点目、その間成田は2選手が警告を受ける。両チーム退場者を出ず激しい攻防が続くが、今度は田辺GKの好セーブもあり、16分過ぎついに田辺が逆転、勢いに乗った田辺は速攻から連続得点、成田も反撃し、15-13と田辺リードで前半終了。

後半は成田8番ミドル、2番の巧みなフェイントによる連続得点から始まる。ターンオーバーからの速攻を含むスピーディーな展開が続く試合中盤、成田の速攻が決まりここまで最大の4点差がついたところで田辺2回目のタイムアウト。田辺は一人退場者を出しながらも激しく追上げる展開に。一方中田も1点差に迫られると引き離し、残り3分、成田3点リードで田辺3回目のタイムアウト、最後まで執念を見せるが届かず、成田が2点差で勝利した。

双方が高い技術と優れた判断力を随所に発揮した、激しさとスピード感に溢れた好試合であった。

記載者名

大島琢哉